

1. 基本情報

区分	農地	担当者名	櫻井 伸治
タイトル (英文)	Effect of added organic matter on soil fertility after stripping-off Cs-contaminated top soil at litate village in Fukushima Prefecture		
タイトル (和文)	福島県飯館村のセシウム汚染水田における表層剥ぎ取り後に投与した有機物の土壌肥沃度への影響		
キーワード	移行係数, ^{137}Cs , ^{90}Sr , 穀物, 野菜類, 肥沃度		
著者	Junko Nishiwaki, Naomi Asagi, Masakazu Komatsuzaki, Masaru Mizoguchi, Kosuke Noborio		
文献	Paddy and Water Environment, 15, 11-18		

(1) 対象地域

福島県飯館村の除染した水田圃場

(2) 重要な図表

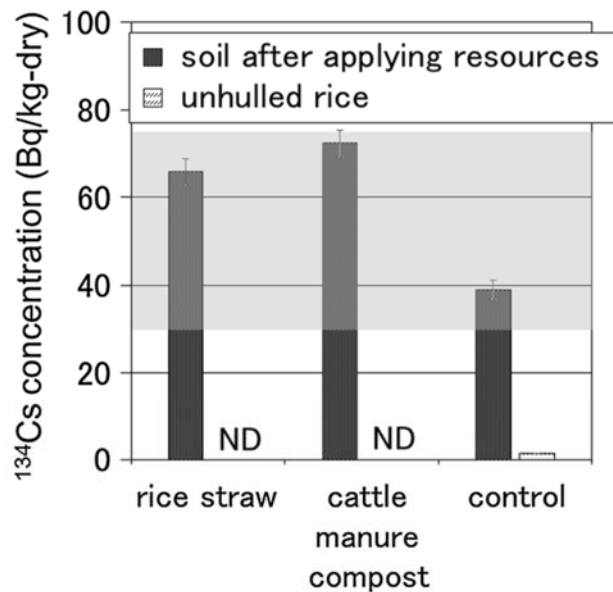


Fig. 6 ^{134}Cs concentrations of soil after applying organic resources (sampled on Sep. 28 in 2013) and unhulled rice (harvested on Oct. 6 in 2013). *Shade* is the width of initial ^{134}Cs concentrations include the error in soil before applying organic resources (sampled on May 25 in 2013)

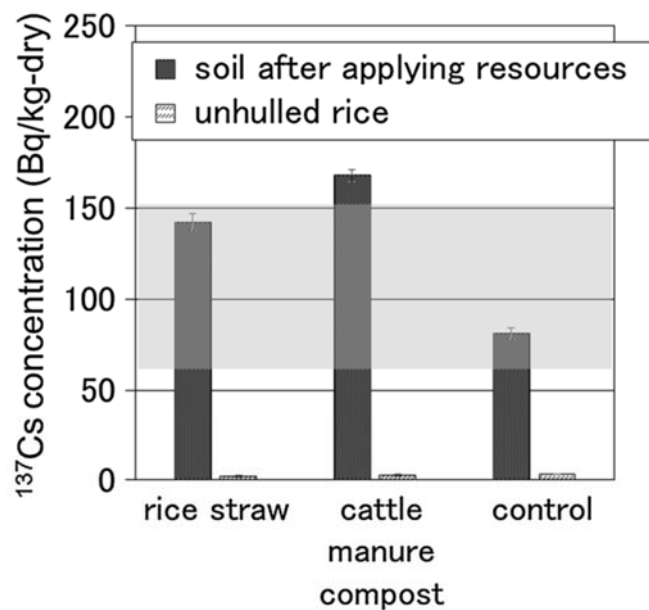


Fig. 7 ^{137}Cs concentrations of soil after applying organic resources in each plot resources (sampled on Sep. 28 in 2013) and unhulled rice (harvested on Oct. 6 in 2013). *Shade* is the width of initial ^{134}Cs concentrations include the error in soil before applying organic resources (sampled on May 25 in 2013)

2. 提言につながる情報

(1) モニタリングへの活用

イネへのセシウムの移行状況.

(2) 流出挙動・経路

- ・もみ／わらのセシウム濃度比はおよそ 0.001 であった.
- ・生育中の生理活性については稲わら施用区, 牛ふん堆肥施用区. 対象区で同程度であった.
- ・もみの収穫量は稲わら施用区>牛ふん堆肥施用区>対象区であった.
- ・各区画で収穫された新米の放射性 Cs 濃度は, 日本政府が設定している許容濃度未満であった.
- ・肥料効果や施用の労力を勘案すると, 稲わらの施用が効率的であると思われる.

(3) 除染の際の留意点

除染後の表層剥ぎ取りによる肥沃度の低下に注意する必要がある.

(4) 担当者のコメント

- ・稲わら施用によるセシウムの化学形態への影響を調査する必要があると思われる.
- ・除染（表層剥ぎ取り）後の圃場の復興に対する方策が記述されている.
- ・除染後のコメの安全性が実証する事例として捉えることができる.